

総務文教消防委員会会議録（令和2年7月3日）

出席委員 青山委員長 大浦副委員長 竹原委員 原委員 岩城委員 古沢委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 上田市長 石川副市長 伊東教育長 石坂総務部長  
上田教育委員会事務局長 広田学務課長 地崎生涯学習課長 落合子ども課長 櫻井総務課主幹 奥村財政課主幹

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 山本主事

午前10時30分開会

**青山委員長** ただいまから令和2年第3回滑川市議会臨時会総務文教消防委員会に付託された案件を審査するため、本日の委員会を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員を指名いたします。

竹原正人委員、原明委員をお願いいたします。

日程第2、付託案件の審査に入ります。

議案第49号を議題といたします。

常任委員会に付託されました予算関係の議案の説明につきましては、全体委員会のみですることとなっております。

よって、議案第49号令和2年度滑川市一般会計補正予算（第3号）につきましては、当委員会での説明はしないことといたしますが、当局のほうから追加で説明する事項はありますか。

（特になし）

**青山委員長** ないようでしたら、これより質疑に入ります。

質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言をお願いいたします。

**竹原委員** 教育委員会の事務費であります。

小中学校で消毒作業を行うのに非常勤職員の雇用ということで550万計上されて

いますが、実際に何人の雇用を予定しているのか。また、その方々の1日当たりの労働時間、また消毒作業だけなのか、その他の学校関係の仕事をされるのかということ、実質の勤務内容についてちょっと質問させていただきます。

**広田学務課長** お答えします。

雇用人数は11人程度と考えております。学校関係はそのうち9名、市内小学校、中学校全部合わせて9校になります。それぞれ1人ずつと考えています。時間は3時間程度と考えています。業務内容としましては、教室及び特別教室、その他、廊下、玄関またはトイレ等の消毒の業務に当たります。それが中心であります。

以上です。

**竹原委員** 大体労働時間3時間ということは、私のイメージでは、学校で子どもたちが下校した後に、要は1日の学校が終わった後の終礼後の教室、廊下、トイレなどの消毒という考え方でよろしいんですかね。

**広田学務課長** 子どもたちが帰った後の消毒もありますが、それ以前の時間に使わない教室、特別教室とか、それから教材教具等もありますので、そういったところも下校前にできるところは対応していただく考えであります。

**竹原委員** 私、短期的な雇用という形になると思いますので、ましてや1日3時間程度の雇用となれば、果たして働きたいという方が実際おられるのか、それが心配なんですけど、例えば3時間とは言わず、半日程度の雇用に延長をして、消毒以外の校務助手的な役割だとか、そういったものも含めたもので今後、今は仕方ないですけど、もし雇用がリクエストにお応えできない状況になるということであれば、もう少し業務を増やして雇用時間を延長するということも考えられると思うんですけど、いかがですか。

**広田学務課長** 今回の新型コロナウイルス感染症につきまして、学校の対応として、学校の教職員等がこれまでと違って大変だとお話ししているのがこの消毒作業でございます。それで、この消毒作業のところをまず、業務のほうを補助していただくというところを進めていければと思います。まずはそこから取りかかればと思っております。

以上です。

**竹原委員** 実際、消毒作業を毎日3時間ずつやってくださいという案内の仕方ですと、やっぱり人は集まらんと私は思うがですね。もし、予算が通った後、じゃ、募集をか

けました、実際募集したけども全く人が集まらない状況で、消毒はもう仕方ない、学校の先生で全部やってくれというのになってしまえば以前と変わらぬ状況になると思いますので、もしそういった場合はどうされますか。

**上田教育委員会事務局長** 委員おっしゃるとおり、募集をかけて人はどうかという部分については心配な部分もございますが、雇用を求めておられる方々の中には、副業といたしますか、他を兼ねてやっておられる方等もいらっしゃるかと思います。まずはこれで進んでみてというふうには考えております。

**青山委員長** 竹原委員、よろしいでしょうか。

**竹原委員** はい。

**古沢委員** 関連しますが、さっき時間と期間、作業内容、大まかなものがありました  
が、じゃ、時給は幾らですか。

**上田教育委員会事務局長** 時給は、市のパートタイム会計年度任用職員等の1の1号給に合わせて897円としております。

**古沢委員** 今、最賃は幾らでしたかね。

**櫻井総務課主幹** すみません、今手元に資料はないのですが、八百四十……。

**古沢委員** 848円

**櫻井総務課主幹** ええ。8円かそこらだったと思っております。

**古沢委員** いずれにしても、この事業の目的は、さっき説明があったとおりで、雇い止めであったり就労機会を失った人たちのための支援、こういうことなんですよね。1日3時間で897円。仮に900円だとしても2,700円ですよね。これで本当に就労機会を失った人への支援ということになるのかなと思って大変心配をしています。どうお考えでしょうか。

**上田教育委員会事務局長** 委員の皆さん方がおっしゃるように、金額的にちょっと不足する部分もあるかも分かりません。ただ、教育委員会といたしまして、学校やいろんな社会教育施設等において、これまで実施しておるコロナ対策等の部分について、それを拡充することによって本来の機能が達せられるということに併せて、雇用の部分につきましては、金額的に満たない部分もあるかもしれませんが、次へのきっかけといたしますか、つなぎといたしますか、そういう部分にもなっていければというふうにも思っておるところでございます。少しでも役立てていただけるようにというような思いでもございます。

**古沢委員** さっき竹原委員が心配するように、それほど魅力的といいますか、背に腹は代えられないという人はもちろんおられるんだと思うんですけども、事業の計画はしたけれども結局使わなかったというようなことになるのではと大変心配をしています。実質的な支援になるように、例えば3時間、さっきもあったように、もうちょっと長い時間ということもあっていいのではないかと思いますから、これはぜひ再検討をお願いしたいと。運営に当たって検討していただきたいと思います。

今のと多少関連するんですが、説明のときに、今度の国の第2次補正で滑川市の地方創生臨時交付金の限度額は2億9,600万何がしだったというふうな説明があったと思います。これは単年度ですから、来年3月まで、今留保した分を含めて処理をするとすると変ですけど、活用させてもらうということになると思うんですよね。この後コロナがどうなるのかというのは予断を持って全く言えない状況ですけども、あるお方によれば、この後寒くなって乾燥することになったらまたというような話もありますし、どうなるか全く分かりませんが、年度内でこの2億9,000何がしの範囲内で活用し切るとするのが原則なんですよ。

**奥村財政課主幹** 今委員さん言われたとおりですけども、今年度の国の補正予算に関わるものですから、今年度予算計上なりして、今年度の事業に一応充てるとというのが原則ですが、国においては、市町村の状況によっては繰越しをすることは可能だということにはなっております。

**古沢委員** やむを得ない事情があつて繰越しせざるを得ない、それで活用するというふうになることも当然あると思うんです。繰越しできるのであればまたいでということもあると思います。

もう一つ、これもまた仮にの話なので答えにくいという話になるかもしれませんが、幸いなことに、仮にそう大きな施策をしなくて済んだといった場合、限度額2億9,000万余りの、今、1億1,200万ぐらいですか。だから、残り1億何がしありますよね、6,000万か7,000万。この分、例えば1億5,000万のうち5,000万は使ったけど1億は使わなくて済んだと。幸いなことに。というときに、この残りはどうなるんですか。

**奥村財政課主幹** 残るということがもしあつたとすれば、それは限度額まで行かないので申請を上げないという形になるかと思いますが、今回の臨時交付金につきましては、国のほうでは、1次の最初の5月の部分と2次の分も含めて全体で捉えてく

ださいというふうになっております。ですから、前は私どもの第1次分については、財政調整基金も取り崩しながら財源を充てさせていただいておりますが、財源につきましては、1次、2次分も含めて全体として市独自のいろいろな施策の中にこの財源を活用していただきたいというのが国の趣旨ですから、恐らく不用額となつて上げないということには多分ならないだろうというふうには考えております。

**古沢委員** 分かりにくかったんですけど、端的に聞きます。この間の補正で市の財政調整基金を1億何がし取り崩しましたよね。仮にこの限度額が残つたと、使わなくて済んだというときに、さきに取り崩した財政調整基金を、いわゆる臨時交付金の使途に合致しているということであれば積み直しをするということは可能なんですよ。

**奥村財政課主幹** 今委員さんが言われたとおりでございます、財源更正をすることも可能になります。

**古沢委員** 先のことは全く分からないので、いずれにしても、住民の皆さんは苦難に遭っているということは間違いないので、経営を支援する、健康を保持するという意味で、私も20年ぐらいやらせていただいておりますけども、こういうことはまず減多にないですよ、こんな事態は。だから、そういう事態に対応するために、国のせつかくの交付金ですから、その意義を十分生かして活用するというふうなことでまずお願いをしたいと。

幸いなことに、そうなったら、さきに取り崩した分ということも念頭に置いて、できるというふうに私も認識していたので、活用し切るというようなことでお願いをしたいと思います。

**青山委員長** 要望でよろしいですね。

ほかにございませんか。

**大浦副委員長** 教育委員会事務局費に戻りますけど、補正予算550万組んでありますけど、事前に雇用期間は8か月と聞いていましたけど、これは間違いないですかね。

**上田教育委員会事務局長** 本年の8月から年度末3月までというふうに考えております。

**大浦副委員長** それで、先ほど1日大体2,700円と言われたんですね。この550万、11人で8か月やると、1か月当たり1人の月収というか給料が6万2,500円だったんですね。先ほど言われた1日約2,700円の大体20日間が就労日数になるとすれば予算が

余ると思うんです。どういう計算をされたんですか。

**上田教育委員会事務局長** 経費の積算といたしましては、今ほどの報酬分といたしまして、897円の約3時間で5日間、あと35週ほどありますので、そちらに人数を掛けた金額で約510万余り。あと、費用弁償的な経費といたしまして30万余りということで、トータル550万円という積算をしております。

**大浦副委員長** 897円という時間給に関しても、土木関係でもこれは出ているんですけど、その時給、これは公の場ではないものなんですけど、聞いたら848円と聞いたんです、最低賃金のほうが。作業内容としては、土木作業をされる方には当然しんどい作業になるんですけど、それと同等程度の時給に関してどういった見解を持っておられるのかお聞かせください。

**上田教育委員会事務局長** 私どもの報酬の単価につきましては、一般事務的に取扱いしておりますパートタイム会計年度任用職員の1の1号級という時給で対応しておりますのでございます。

**大浦副委員長** そして、学校関係で言えば、当然、夏休みとか冬休みとか長期の期間の休みがあります。そういった間の補償はどうされるのか。あとは、いつ休校判断されるかも分からない、透明性がないところもあるので、そういった場合はどういった補償を、目的はあくまでも雇用を助けるという目的なので、そういった場合どうされるんですか。

**上田教育委員会事務局長** 夏季、冬季の休業中の部分についての補償までは今のところ考えておりませんで、実際に勤務いただいた部分についてのお支払いというふうに考えております。

**大浦副委員長** そうすると、やっぱり助けるという目的が達成されないんじゃないかなと思うんですね。さらに、減るんですよ、雇用する日数、時間も。そうすると、教育委員会事務局費で出すのが効果的なのか、それともじゃ、ほかの臨時雇用のところを探るのかという判断が必要じゃないかなと思うんですけど。

すみません、もう一点いいですか。事前にこれ、ハローワークと教育委員会で募集をかけられると思うんですけど、ハローワークに確認させていただいたら、やっぱりこういった短い時間と月の週勤で募集をかけてもほぼ来ないというハローワークさんからの見解をいただいたんですけど、いかがですか。

**上田市市長** あんまり分からない世界を想像して言われても返事のしようがないと思っ

ています。これよしとして提案申し上げているので、これまでの経験がないところをどうなるか、どうなるかと言われても返事のしようがない。趣旨を分かっていたらなければなど。今後やらせてもらって、特別に事情が変われば、そのときはそのときの対応で現在と合わせてやる。これが行政だと考えています。

**大浦副委員長** 雇用はしてほしいんです。だけど、そうやって消毒員という作業内容だけだとどうしても雇用を守れない。なので、作業内容をほかに追加していかないと、せっかく雇用してもその人たちは働く場を失うんです。実際は夏季、冬季休みがありますので。

**上田市長** 細かく聞いていないですよ。

**青山委員長** 挙手の上、お願いします。

**上田市長** これ、理屈になるかって、そこを言い出すと切りがないんです、これ。やめてよ。

**岩城委員** 未就学児童副食費無償化の件ですが、小中学校は1年間、4月から遡って無償になったと。今回の保育所に関しては6月からということですが、その判断の違いは何でしょうか。

**落合子ども課長** 今出ておりますこの副食費といいますのは、子どもたちの給食費に係る実費ということで、その徴収は施設側ですることとなっております。

滑川市ではコロナウイルス感染症の防止のために、国、県の緊急事態宣言を受けまして、保護者の方に4月20日から5月20日まで登園自粛の協力をお願いしたところでございますけれども、その間の副食費につきましては、自粛の状況が読めないということもあって、園側で保護者の方にお弁当持参の協力をお願いされたりという対応をされた園もありますし、また、多くの園では、その副食費を登園状況に応じて日割りして徴収するという対応をされたりしているところがあります。様々な状況でございます。

副食費というのは、あくまで子どもたちが保育所で食べた実費分ということになりますので、この自粛要請を含んだ期間としますと、その期間に保育所をより多く利用された方が多く受けられて、家庭で家庭保育をして登園自粛に協力していただいたご家庭は、おうちでご飯を食べているわけですので、逆にこの援助というか、それが受けられないという、そういうような状況も出てきます。

副食費はあくまで子どもたちが保育所で食べた実費分ということになりますので、

今回の場合は登園自粛の影響を受けない6月分からということに設定したということをごさいます。

**岩城委員** 難しい説明でちょっとあれやったけど、簡単に言うたら、前のがを精算するがなかなか大変かなというところで、そこからスタートしたということかな。分かりました。

**青山委員長** ほかにございませんか。

**大浦副委員長** 確認だけさせていただきます。作業内容を追加されますか。採決があるので。あくまでも消毒作業員としての雇用にしますか。

**上田教育委員会事務局長** 学校等の現状等も見ながらというふうになると思いますけれども、取り急ぎ授業等が終わった後に、先ほど竹原委員からもありましたが、業務としては、子どもたちが使った教室について、毎日の作業として消毒作業等も多くあるというようなことから、これらの業務についてサポートしていただき本来の先生方の業務を手助けする。拡充して作業していただくことによって、よりきれいな学校であったり施設づくりができるということで今考えておまして、現在のところは消毒作業ということで進んでいきたいというふうに考えております。

ただ、この後、状況がまた変わったりすれば検討はしなくちゃいけないかも分かりませんが、今のところは消毒作業、消毒されるといっても、先ほど学務課長から申しましたが、教室の机、そういうようなものとか、例えばパソコンとかでも、触ったところを1台1台拭いたりするというだけでも結構な時間がかかったりすると思いますので、そちらのほうで対応していきたいと今考えております。

**大浦副委員長** そしたら、あくまでも、夏季、冬季の休み期間は、この人たちは雇用していてもお金が発生しないということなんですね。

**上田教育委員会事務局長** 現在のところはそのように考えております。

**竹原委員** 今のに関連してなんですけど、やっぱり募集をかけても集まらなかった。それが8月から雇用を目指しているという答弁の中で、今月いっぱいいわゆる募集をかけるというイメージであれば、じゃ、いつまでに募集をかけても人が来てくれなかったら、じゃ、プラスアルファの時給を上乗せするのか、あるいは業務内容を改めて消毒プラス何がしという形にして1日当たりの労働時間を5時間なり6時間なりに増やします、そういったことというのはもし人が集まらなかったらせざるを得んというふうに思いますので、今日は今日ですけど、今後、雇用が見込めなかつ

た場合に教育委員会としてどう対応していくのか、それはしっかり明言していただきたいというふうに思います。

**上田教育委員会事務局長** 人の雇用については、委員おっしゃる部分もあるかと思えます。金額等で判断されるということはやっぱり多くあるのかなというふうに思いますがけれども、現在のところ、学校、社会教育施設というふうに、今、教育委員会関係で出している分につきましては、それ以外の業務について、こういう部分、こういう部分という、エンドレスに業務を継ぎ足すわけには当然いかないというふうに思っておりますので、状況を見ながらまた検討させていただくということで進めていきたいと思っております。

**上田市長** この話、議場でどなたかの議員が言いましたよね。休業のうちに仕事へ行けなくなった人たちを雇えというのは議会から出た話だと思っております。確認、それでいいですか。

**古沢委員** そのとおりなんで、だから、いろいろ言っているのは、ちゃんと就労機会を失った人の支援になるように運用してくださいということをお願いしている。みんな同じこと言うてるんですよ。これで本当に、ちゃんとそれが生かせるようになるのか心配なもんだからお願いしているの、そこは理解してください。

**石川副市長** 今おっしゃられるように、緊急雇用でやっぱりどうしても職を失った人をどうするかということで、特に求人環境も非常に悪くなっておる。これはまた、どういうふうに変わっていくか分かりません。だから、そういう意味では、8か月といってもまた雇用状況が変わることも当然あるし、いろんな変化があるだろうと思っております。

そういう中で、今おっしゃったように、1日3時間だとなかなか来ないとかいろんなことがあるので、それは緊急雇用という観点からいろんな面、その都度その都度変えていく必要があるだろうと、そういうふうに思っておりますので、ただ現在は、そういうふうにして提案をしておりますので、それをしていきながら、変化に応じてまたやっていきたいと、そういうふうに考えておりますので、よろしく願います。

**青山委員長** 今ほかの委員さんからも出て、私、思うのは、私、派遣とかの時代がすごい長かったもので、キャリア的に、ちょっとお話しさせていただくと、例えば正社員、今もらっている方たち、全員ある程度の給料をもらっているわけです。ここに

いらっしゃる方は。お仕事をフルタイムで働いている方は毎月、要は人となりの生活ができるだけの給料をもらっていると。今回雇い止めになってしまうと、それがぐんと、要はゼロになる可能性になると。そのときに、じゃ、バイトに行こうとなったときに、バイトの給料は時給なので、前職のフルタイム、要はお金は確実に落ちるわけですよ、当然ながら。そうすると、この3時間というのは、逆に言うと働いている時間の9時・5時を外したような消毒時間にするだとか、そういったことでプラスアルファするのであれば、私からすると、正直、要は雇用を守るためプラスアルファでそういった部分で手当てしましたよという格好でいいんじゃないかなと思いますし、今ほかの委員さんからも出ましたとおり、2,700円以下だと、これだけやっていて、ダブルワーク可と書いたところで、恐らく可能性的にはこないだろうと。言われるとおりだと思うので、やっぱりその辺を、今予算を立てていて、これを要は緊急的に皆さん、雇用のために使ってくださいなんていう本当の思いがあるのであれば、そういったプラスアルファの形で執行できるような形が取れないかなというふうに思っておりますので、これも要望であります。そういった形で模索して、ハローワークさんなりに求人を出していただきたいなと思うんですけど、その辺ちょっとご見解というかお願いします。

**上田教育委員会事務局長** ありがとうございます。

今、学校との協議の中では、先ほど学務課長が申しましたように、子どもたちが下校した後の時間というふうに考えておきまして、消毒作業等については安全に作業できるものだというふうに考えております。

ただ、その開始時間等については、ダブルワーク等もできる時間ということなら少し遅くなったりというようなこともあります。学校の先生方のおられる時間であればということで今考えておったところでございますので、時間調整等につきましては、この後学校等とも協議しながら適切な時間にできるように考えていきたいと思っております。

**青山委員長** 現場の先生方の時間帯と、やっぱりいらっしゃるときじゃないと、鍵開けの問題等々も正直、実務上あるとは思いますが。ただ、やっぱりどこかで工夫していかないと、執行したけれども、実際問題、全く手が挙がらなかったとなると、何のための補正予算だったかというのになりますので、その辺ちょっと考えながら、ぜひ有意義にコロナ対策として使っていただきたいと思っております。

ほかに質疑はございませんか。

(質疑する者なし)

**青山委員長** ないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより、付託議案に対する討論を行います。

討論を希望される委員は挙手をお願いします。

(討論する者なし)

**青山委員長** ないようでしたら、これにて討論を終結いたします。

それでは、これより挙手により採決を行います。

議案第49号 令和2年度滑川市一般会計補正予算(第3号)を採決いたします。

本議案について、賛成の委員の挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

**青山委員長** 賛成全員。よって、議案第49号につきましては原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

午前11時03分議決

**青山委員長** 以上で付託案件の審査は終わりました。

委員の方に申し上げます。本来であればその他事項ということですが、今回は臨時会ということですので、委員からのその他につきましては次回委員会等々で受けたいと思います。

これにて令和2年第3回滑川市議会臨時会総務文教消防委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前11時04分閉会